



蘭田 靖邦 議員

- ◎若者定住住宅の成果
- ◎保育園、幼稚園、入園前の子育て支援
- ◎保育園待機状況
- ◎小中高連携の、これからの取り組み課題

問

質問 若者定住住宅について。

町長 町の定住人口増加と地域活性化を推進する目的で、平成17年度から若者定住促進住宅の建築を開始した。

平成20年度には16戸が完成し現在の入居状況は14世帯50人。これまでに延べ33世帯125人の方が若住に入居している。

質問 何のためにこの住宅を建設したか。本来の目的をさらに果たしてほしいが。

建設課長 建築行政の一面から、統合戦略の施策の一つに結婚・出産・子育てを支援し安定した家庭生活を維持できる環境整備という柱がある。定住関係の補助金の利用、町に住んでいただけるような形を新たな面で取り組んでいく。

質問 今後の地名保育園の有効活用は。

福祉課長 子育て支援施設等の整備が重要と考える。よりよい子育て支援の施設となるべく

子供・子育て会議の意見を伺いながら進めたい。

質問 町内での紙おむつを買う際の助成制度を。

福祉課長 他市町の事例をみると助成している所もある。いろいろな支援の方法があるが、将来の出生数なども勘案して検討していく。

質問 認定こども園と違った新しい形態の園の発足は。

福祉課長 平成18年度に導入された制度だが町立の保育園については保育所として継続、私立幼稚園、私立保育園については町として相談等の支援を行う。

教育総務課長 最初は幼稚園型認定こども園という話があったが、

施設整備にお金がかかるとの事、現在のところは施設型給付の制度をもつてやって行きたいと聞いている。

質問 町が中長期的に展開していかなくてはならない支援とは。

教育総務課長 子供が育つ町川根本町の実現のためのRG授業キャリア教育、また若者交流センター等々、町が一体となって子育てのしやすい町となるような施策を積極的に展開していく。

商工観光課長 前回の子供議会でも感じた事だが、他の町の人が川根本町を良く知らないという意見があった。

自慢できる資源の充実をはかり将来的な子供達の就労関係の創出は交流人口の増加をはかり町に移住、またはU・I・Jターンして新規事業を始めようとする人に対し何らかの支援

を考えていく。

産業課長 主要産業のお茶・林業を子供のころから知ってもらう体験教室の開催を進めていきたい。

質問 通学路の崇徳橋から上長尾までの設置された街灯は夕方になっても一つ二つしか点灯していないが何故か。

建設課長 東日本大震災以降、電力に対するための措置です。町としては自転車通学時の事故防止のため、必要な箇所の道路照明灯を点灯するよう要望していく。

質問 子育て支援、子供の成長の環境のさらなる充実を盛り込んだ来年度予算に仕上げてもらいたい。

町長 具体的な提案もありましたので、早速吟味して対応できるように頑張りたいと思います。

答

- 住宅建設による子育ての環境整備は一応の成果
- 子育て支援事業計画に基づき、様々な施策を展開
- 9月1日現在、保育園待機児童数ゼロである
- 全て関連づけて一体的な教育として取り組む



「3町議会議員研修会」を開催しました

8月20日、森町町民生活センターにおいて、森町、吉田町、川根本町の3町の議会議員による研修会が行われました。研修会は「議会運営」「委員会・一般質問」「広報・議会報告会」の3つのテーマに分かれて行い、各議会の現状や問題点を説明後、様々な質問や意見が交わされました。

第1分科会 「議会運営について」

出席者：鈴木、森、芹澤、野口

・ 当町では昨年度の第1分科会で、全協の開催時期（定例会前の開催）と方法（上程予定議案の詳細説明とそれに対する質疑等）を他町の実例から見直し、6月定例会から実施（議運は定例会7日前に開催、全協は定例会初日の本会議終了後開催）している。

・ 吉田町は議案の委員会付託をなくし、本会議で議案審議を行っている。（予算、決算も同）当町や森町では新規条例や重要案件、予算決算は委員会へ付託している。

・ 森町は「行財政問題研究会」（＝議

員の勉強会）をテーマを決めて毎月開催している。

第1分科会



第2分科会



第2分科会 「委員会・一般質問について」

出席者：中田、山本、中澤、坂本

・ 吉田町では常任委員会を月に2～3回開催。また議案の委員会付託は行わず、全協で執行部からの説明、議員による論点整理後、本会議で審議する。

・ 当町の予算、決算特別委員会の審議日数は5日間で他2町から日数を取りすぎるのではないかとの意見があった。（本年度の決算特別委員会では3日間の審議を行った。）当町での常任委員会は所属以外の議員の出席（傍聴）や発言も可能との説明に、委員会に分かれる必要はないのではないかとの意見があった。

※森町は、当町と同じように一般質問は、最終日に行なっている。

第3分科会 「広報・議会報告会について」

出席者：小藪、太田、根岸、蘭田

・ 3町とも議会広報紙を多くの町民に読んでもらうための試行錯誤、創意工夫を行っている。読みやすい文字数、見出しの重要性、写真やイラスト等による視覚に訴える紙面づくりが大切との共通認識を持った。

・ 議会報告会は、当町では本年7月に初開催。吉田町は年2回4会場テーマ別に4グループに分けて開催。行政も昨年からは行政報告会を開催するようになった。森町は24年度から開催、今年度は年2回（1回目は6月）実施予定とのことだった。報告会の参加者は自治会関係者、各種団体関係者が多く、若者や女性の参加者は少ないのが3町共通の課題だった。

・ 町民が行政や議会に関心を持ち、理解してもらうための広報紙作成や報告会開催が求められていると感じた。

第3分科会

